

提供日 2013/1/22  
タイトル グランシップ伝統普及プログラム  
担当 財団法人静岡県文化財団 企画制作課  
連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団  
記者提供資料

「グランシップ伝統芸能普及プログラム」大学連携事業  
**菊川市立岳洋中学校で静岡大学教育学部の学生が  
能楽を音楽の授業に取り入れた実践授業を行います。**  
～音楽教員を目指す学生が能楽師から直接学び、邦楽教育の実践に生かす～

## 1 要旨

財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、一昨年度より「伝統芸能普及プログラム」を実施し、市町の文化施設や教育機関と連携して能楽などの伝統芸能がもつ魅力や特徴などを多角的に紹介しています。今回は、昨年11月に能楽師・大倉源次郎氏のレクチャーを受けた静岡大学教育学部の音楽専攻の学生が、実際に学校現場で音楽の授業を行います。また、社会科の授業も組み合わせ、能楽を「音楽」からと、その時代背景を知る「社会」からの観点で中学生に紹介します。

## 2 概要

区分	内容
公演名	グランシップ伝統芸能普及プログラム「触れてみよう能楽師」
日時	平成25年1月24日(木) 10:20～12:20 (3・4時間目) 平成25年1月29日(火) 11:30～15:10 (4・5・6時間目)
会場	菊川市立岳洋中学校(菊川市下平川5430) 音楽室
講師	静岡大学教育学部3・4年生 (ピアノ専攻、声楽専攻、音楽教育専攻) 監修:大倉流小鼓方十六世宗家・大倉源次郎 ※大倉氏は29日に立ち会い
受講生	岳洋中学校1年生 / 24日: 3時間目(5組) 4時間目(2組) 29日: 4時間目(3組) 5時間目(1組) 6時間目(4組)
授業内容	<b>【音楽】</b> 中学校の教科書に掲載されている能「羽衣」の謡を謡う。 グループに分かれて練習。 <b>【社会】</b> ※岳洋中学校教員が行います 室町時代の歴史や文化を学ぶ。 室町時代に大成された能楽の歴史や文化を学ぶ。
目的・特徴	グランシップで継続している能楽公演を単なる興行的公演で終わらせず、地域と連携したプログラムとして構成しています。また、各地域や機関の実情に合わせ、内容や出演者を個別に選定しています。能楽という芸術だけでなく、“能楽師”という演者・芸術家の人としての魅力にも触れることができます。 今回は能楽について大学生に能楽の知識を提供するだけでなく、彼らが学校教育の現場に立ち、実際に中学生に授業をするというところまで構成しています。
主催	財団法人静岡県文化財団 / 国立大学法人静岡大学教育学部

## 3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者: (財) 静岡県文化財団 企画制作課 電話 054-203-5714 (担当: 望月・関川・渡邊)